

授業科目 基礎理学療法学実習		科目コード番号		
【担当教員名】 ○高木 (小林、相馬)	対象学年	2	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	60
【概要】 前期で行われた理学療法学基礎理論を受けて、患者さん（さま）との接し方、理学療法治療に必要な情報収集の仕方（理学療法評価学あるいは理学療法診断学）、症例をビデオで見ながら、治療プランの立て方、記録の仕方（チャート）などを一人一人が学生同士で実体験を行います。 リスク、事故防止、感染防止についても考えます。（できる限り、身体の動きを観察、触診できる服装が望ましいと考えます。）				

【使用図書】				
教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	理学療法のとらえかたClinical Reasoning	奈良 勲 編集	文光堂	2001年、4800円＋税
参考書	図解 理学療法技術ガイド第2版	石川 齊、武富由雄 編集主幹	文光堂	2001年、8,000円＋税
	理学療法ハンドブック改定第2版	細田多穂、柳沢 健 編集	文光堂 三輪書店	1993年、23,170円
	リハビリテーション技術全書第2版	服部一郎、細川忠義 和才嘉昭	医学書院	2000年、23,000円
その他配布資料	主に高木がプリントを用意する。			

【評価方法】 筆記試験、出席、発表、授業貢献度、実技テストなどを総合的に評価します。
【履修上の留意点】 学生は、一方的な受講だけの受身の態度は望ましくありません。クラス参加前の準備と質問、討論が必要と考えます。実習は、その都度、そのときの課題の実技テストとその評価を行いたいと考えています。

【本科目の一般教育目標：GIO (General Instructional Objective)】 理学療法学の定義、歴史、理念、対象を説明できる。関節可動域、筋・神経機能と理学療法の関係の説明を自分や学生同士の身体を使って表現、説明ができる。
--

【行動目標：SBO (Specific Behavioral Objectives)】 1 理学療法を開始するとき、終了するとき、適切なコミュニケーションを図ることができる。 2 理学療法学における評価と治療計画の決定過程の説明を自分の体を使って表現できる。 3 理学療法における治療の実施とリスク管理、治療方針の修正の説明を自分の体を使って表現できる。 4 理学療法の効果の説明を自分の体を使って表現できる。 5 拘縮の原因と関節可動域運動を説明できる。 6 神経・筋の機能と機能障害および機能障害回復学と理学療法学との説明を自分の体を使って表現できる。 7 一般的、基礎的レベルで機能障害と姿勢との関連を説明することができる。 8 理学療法と運動制御・運動学習との説明を自分の体を使って表現できる。 9 理学療法学とバイオメカニクスとの関係の説明を自分の体を使って表現できる。 10 理学療法における一般的なりスク管理を説明することができる。

授業計画

教室 _____

回数	授業内容	SBO 番号	担当教員	教授学習法	学習課題 又は 備考
1	患者さん（さま）と接するとき。	1	高 木	実 習	教員の説明と演 示。学生同士での 体験（態度・習慣 の受け入れ）
2	初めて接する患者さん（さま）への態度、自己 紹介から。終了するときのコミュニケーション。				
3	理学療法の実際	1、	高 木	実 習	教員の説明と演 示。学生同士の協 議と体験（態度・ 習慣の受け入れ）
4	（ビデオで症例を見る。診る？）。治療へのプロ セスを考え、協議する。	2、3		ビデオ	
5	トップダウンとボトムアップ。ブレイクスルー	1、	高 木	実 習	教員の説明と演 示。学生同士での 協議と体験
6	理学療法における評価（理学療法的診断）から治 療プラン作成へ	2、 3、4		ビデオ スライド	
7	関節運動の問題について I 理学療法	5	高 木	実 習	教員の説明と演 示。学生同士の協 議と体験（態度・ 習慣の受け入れ）
8	診断学の一つ、関節可動域についての情報収集（上 肢）			ビデオ スライド	
9	関節運動の問題 II 体幹（4と同じ	5	高 木	実 習	教員の説明と演 示。学生同士の協 議と体験（態度・ 習慣の受け入れ）
10	く学生同士、ROM 計測対象の関節を動かす）			ビデオ スライド	
11	関節運動の問題 III 下肢	5	高 木	実 習	教員の説明と演 示。学生同士の協 議と体験（態度・ 習慣の受け入れ）
12	上と同じであるが、ポジショニングも考慮する。			ビデオ スライド	
13	関節運動の諸問題のまとめ（ <u>全学生がまとめて</u>	1、	学生全員 がまとめ 発表	実 習 OHP, slides PowerPoint	全学生がまとめ、 発表する。（想起 と解釈）（態度・習 慣の受け入れ）
14	発表する）	2、 3、 4、5			
15	筋力について I 上肢、手指	2、			
16	（学生同士、MMT 計測対象の筋の評価を行う）	3、 4、5 6			
17	筋力について II 体幹、下肢	2、	高 木	実 習	教員の説明と演 示。学生同士の協 議と体験（態度・ 習慣の受け入れ）
18	（学生同士、MMT 計測対象の筋の評価を行う）	3、 4、5		ビデオ スライド	

19	筋緊張について ビデオや筋電図を利用して考える。(電脳理学療法 も参考とする)	6	高 木	実 習 ビデオ スライド	習慣の受け入れ) 教員の説明と演 示。学生同士の協 議と体験(態度・ 習慣の受け入れ)
20		2、 3、 4、5 6、			
21	姿勢を考える I ビデオを利用する。一方向から、他の方向を 推察する。	2、	高 木	実 習 ビデオ スライド	教員の説明と演 示。学生同士の協 議と体験(態度・ 習慣の受け入れ)
22		3、 4、5 6、7 8、9			
23	姿勢を考える II ビデオを利用する。一方向から、他の方向を 推察する。(機能障害との関係を推察する)	2、	高 木	実 習 ビデオ スライド	教員の説明と演 示。学生同士の協 議と体験(態度・ 習慣の受け入れ)
24		3、 4、5 6、7 8、9			
25	理学療法を行う際のリスク リスク、事故防止を考える。	1、2	高 木	実 習 ビデオ スライド	教員の説明と演 示。学生同士の協 議と体験(態度・ 習慣の受け入れ)
26		3、4 5、6 7 8 9、10			
27	治療を考える2 と 授業のまとめ ビデオなどを利用する。 (より総合的、top down, break through)	1、2	高 木	実 習 ビデオ スライド	教員の説明と演 示。学生同士の協 議と体験(態度・ 習慣の受け入れ)
28		3、4 5、6 7、8 9、10			

その他

19	筋緊張について	6	高 木	実 習 ビデオ スライド	習慣の受け入れ) 教員の説明と演 示。学生同士の協 議と体験(態度・ 習慣の受け入れ)
20	ビデオや筋電図を利用して考える。(脳理学療法 も参考とする)	2、 3、 4、5 6、			
21	姿勢を考える I	2、	高 木	実 習 ビデオ スライド	教員の説明と演 示。学生同士の協 議と体験(態度・ 習慣の受け入れ)
22	ビデオを利用する。一方向から、他の方向を 推察する。	3、 4、5 6、7 8、9			
23	姿勢を考える II	2、	高 木	実 習 ビデオ スライド	教員の説明と演 示。学生同士の協 議と体験(態度・ 習慣の受け入れ)
24	ビデオを利用する。一方向から、他の方向を 推察する。(機能障害との関係を推察する)	3、 4、5 6、7 8、9			
25	理学療法を行う際のリスク	1、2	高 木	実 習 ビデオ スライド	教員の説明と演 示。学生同士の協 議と体験(態度・ 習慣の受け入れ)
26	リスク、事故防止を考える。	3、4 5、6 7 8 9、10			
27	治療を考える2 と 授業のまとめ	1、2	高 木	実 習 ビデオ スライド	教員の説明と演 示。学生同士の協 議と体験(態度・ 習慣の受け入れ)
28	ビデオなどを利用する。	3、4			
	(より総合的、top down, break through)	5、6 7、8 9、10			

その他